

## 令和元年度第2回白井市男女共同参画推進会議 会議録

- 1 開催日時 令和2年2月17日（月） 午後2時5分から午後3時6分まで
- 2 開催場所 白井市役所本庁舎3階 会議室301
- 3 出席者 北川慶子委員、市川温子委員、佐藤真弓委員、芦田恵子委員、伊藤忠昭委員、鈴木孝委員、今井幹代委員、佐野恵己委員、折原圭太委員、中村一治委員、冨瑪悠委員、稲田忍委員、中原恵子委員
- 4 欠席者 大野晋次委員、新原幸子委員
- 5 事務局 企画政策課 永井課長、男女共同参画室 保科主査、竹内主任主事
- 6 傍聴者 なし
- 7 議題 (1) 会長・副会長の選出  
(2) 男女共同参画に関するアンケート結果について  
(3) 男女平等推進行動計画 後期実施計画策定スケジュールについて  
(4) その他
- 8 議事 会長・副会長の選出については事務局が議長として進行を行い、会長・副会長選出後は、白井市附属機関条例第6条の規定により、会長が議長として議事を進行した。

### (1) 会長・副会長の選出

○事務局 ここから会議に入っていきたいと思います。

令和元年度第2回目、皆様にとっては初めての会議になるのですが、市として2回目の会議になる男女共同参画推進会議をこれから開催させていただきたいと思います。

この会議につきましては、白井市附属機関条例に基づき実施するもので、条例第6条第1項の規定により、会長が議長となり進行を務めることとなっております。現時点では、まだ会長が決まっておりませんので、会長が決まるまで事務局で議事を進行させていただきます。課長が暫定議長を務めさせていただきます。

○暫定議長 改めまして、企画政策課長の永井と申します。

会長、副会長が決まるまで暫定の進行役として務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、議題の1、会長・副会長の選出という議題でございます。こちらにつきましては、資料でお配りさせていただきました附属機関条例第3条というのがございまして、この中で会長、副会長は委員の互選により定めるというふうに規定がされてございます。したがって、これから会長、副会長の選任ということでさせていただきたいと思います。自薦他薦ということになりますので、どなたか立候補、もしくは推薦等ございましたらお願いしたいと思います。

○委員 先ほど皆様のご紹介を聞いており、経験値としては、北川先生がすごく高いので、お話を聞きつつ、今の現状を聞きつつ進めていけたら円滑になるかなと思います。いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○暫定議長 よろしいでしょうか。

○委員 はい。

○暫定議長 ありがとうございます。それでは、会長を北川慶子委員にお願いしたいと思いません。

続きまして副会長ですけれども、こちらも互選ということなので、立候補もしくは推薦というところなのですけれども、何かご意見等ございますでしょうか。

○会長 よろしゅうございますでしょうか。皆様方のご紹介のお話を伺いましたし、それから、とても男女共同参画推進員として長年頑張ってきていらっしゃった方がいらっしゃるということで、その方、市川さんでいらっしゃいますので、私、今ご推薦いただきまして、会長を引き受けました。この白井市のことはそんなに詳しく私わかっているわけではございませんので、少しまた市川さんにお尋ねしながら、一緒にこの会議を進めていけたらというふうに思っておりますが、いかがでしょうか。

〔拍手〕

○委員 私ですらよろしければ、務めさせていただきます。

○暫定議長 ありがとうございます。

そうしましたら、会長、北川先生、副会長は市川さんをお願いしたいと思います。ありがとうございました。

それでは、恐縮ですけれども、一言ずつご挨拶を頂戴できますでしょうか。よろしく願いいたします。

○会長 ただいまご推薦いただきまして、会長を引き受けさせていただきました北川でございます。よろしく願いいたします。

申し上げましたように、私、白井市は、最初は梨で、しかも、どこでその梨の名産地と知ったかといいますと、随分前になりますけれども、モンゴルでございます。モンゴルで千葉県県産展がございまして、そのときに、千葉には梨があるというのはわかっておりましたけれども、ここで白井市、私は千葉から来ましたと言って仲良しになった方もたくさんおまして、それからずっと気になって、たまにホームページを見させていただいたりしておりましたところ、この委員にどうかというようなお声をいただきました。本当に光栄に思っているところでございます。ただ、余りよく存じ上げませんので、この市川さんという強力な地元の方とタイアップさせていただいて、この会を進行させていただけたらいいなと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

○委員 先生にすごく立てていただいてありがたい話です。

私も実は、こちらへ来て三十三、四年になるのですけれども、子育てしていて、実は公民館の企画員の募集があって、まだ幼稚園へ行く前のチビがいましたが、私で何かできることないかなと思いながら応募したときに、ちょうどランドセルの色が、男の子は黒で女の子は赤でという、それがちょっとおかしいんじゃないというのが新聞記事や何かでちょっと出始めていたころで、そこから何となく、今まで思っていた、それこそおもちゃでも、男の子は車を与えていれば満足いくし、女の子だったらお人形を与えていればそれでよいと思っていたのが、ちょっと違うのかなと思い出して、それから何となくそちらに興味を持ちながら、白井市でもいろいろな講座を開いてくださって、そこで勉強して今に至るということで。本当に白井市で、市内で一生懸命いろいろなことを教えていただいて、それがまた自分が教えていただいたことを今度広める立場になってきたんじゃないかなと思っています。だから、学生中に何か勉強したとかそういうことでは全くありませんので、皆様と土俵は全く一緒なので、またよろしく願います。

○暫定議長 ありがとうございます。今後ともよろしく願います。

会長、副会長が決定いたしましたので、この後の進行につきましては、北川会長に移させていただきます。暫定議長の任を解かせていただきたいと思っております。円滑な議事進行にご協力いただきましてありがとうございました。

○事務局 ありがとうございます。

大変申しわけございませんが、市長公務のため、ここで退席させていただきます。

○笠井市長 よろしく願います。願います。

○事務局 よろしく願います。

## (2) 男女共同参画に関するアンケート結果について

○会長 それでは、改めまして、これから男女共同参画推進会議を始めさせていただきたいと思っております。

皆様方のお手元に次第があるかと思いますが、議題は3題中の議題の2、男女共同参画に関するアンケート結果というところから始めさせていただきたいと思っております。それで議題は2と3と、それからその他という部分になります。

それでは、どうぞ皆様方の、私も初めてでございますので、なかなか思うようにいかないかもしれませんが、ご協力よろしく願います。

それでは、早速でございますけれども、たくさんの資料をいただきましたが、その中から、最初の男女共同参画に関するアンケート結果についてというところで、事務局からご説明いただけますでしょうか。よろしく願います。

○事務局 (事務局説明)

○会長 どうもありがとうございました。

それでは、いろいろな資料、特にアンケートに関する分析につきましてのご説明がございま

したけれども、委員さんの中でご質問ですとか、あるいはコメントといったようなものがございましたら。

委員、どうぞ。

○委員 聞きたいのですけれども、このアンケートの内容とか項目、これは白井市独自のものか、それとも自治体とか国がつくっているものについて、準拠したものなのでしょうか。

○会長 事務局、どうぞ。

○事務局 お答えさせていただきます。こちらに関しましては、白井市独自のものです。こちらの先ほどの数値目標達成状況をベースにして、アンケートの設問をつくった形になります。

○委員 何か類似のものがほかの自治体などであれば、それと比較対象で白井がどうなのかという違った観点から見るができると思ったのですが、できないわけですか。

○会長 事務局、どうぞ。

○事務局 今回のアンケートにつきましては、市の独自のもの。一応、この計画をつくったときの住民意識調査の聞いたものから特出ししているような形にはなるのですけれども、これ自体がやはり市の独自のものになってきますので。

○委員 今、申しましたように、ほかの自治体のものがあれば、比較対象で、白井はこういう点の意識が高いとか低いとかなってくると思ったのですけれども。わかりました。

○会長 ほかにいかがですか。

どうぞ。

○委員 お教えいただきたいのですけれども、この資料9の目標とするところは、これは男性、女性合計の目標値ですか。

○事務局 はい、そのとおりです。

○委員 それで、今この資料のご説明いただいた内容は、割と男女の差がありますねというコメントがあったじゃないですか。そうすると、これを上げるのは、最初に例えば今、女性が低いから上げましょうとか、男女両方上げましょうとかいろいろなやり方というか、変わってくると思うので、これ一緒にしたら、せっかくばらばらにあるので、例えば、分けるのは細か過ぎちゃうかもしれませんけれども、そういう工夫はどうかなとちょっと思うのですけれども、いかがでしょう。

○会長 お願いいたします。

○事務局 今、非常に建設的なご意見ありがとうございます。実は、今回このベースにさせていただいたこちらのほうが、男女共同行動計画の前期実施計画というものに、裏表紙のところに数値目標ということで実は掲げさせていただいているものを追っかけているということで、このときには、いわゆる性別に限らず全体ということで設定したもので、そういう形にはさせていただいているのですが、今後、例えば次の5年間をするときに、そこら辺を留意する形がいいのかというところは、またいろいろご議論いただきながら決めていきたいなと思っております。

○委員 ありがとうございます。

○会長 どうぞ。

○委員 私もこれアンケートの結果を見て、なるほどなというふうに思う部分もあったのですが、一つ、これは結果から見て、これどうしてなのかなというふうに思うところが。例えば資料9で1枚薄いやつなのですから、先生がいらっしゃる前で、自分も教員の仕事を以前やっていたものですから、学校教育というものが、ある意味で男女共同参画社会の推進というものに対して一番進んでいるんじゃないかというふうに私は個人的には思っているのです。なかなか進まないのが社会通念とか、そういう一般社会であって、もう本当に、市長さんもお挨拶されたとおり、男女の家庭科の実習とか、役割はとにかく男子と女子も関係ないのだよ、女子で生徒会長になる子もたくさんいますし、何か男女を区別して扱っている場面というのは、ほとんど感じられないのが私の感覚だったのです。

それがなぜ、例えばこの資料9においても、本当にこの実績値、平成27年は79.4%が、令和元年で47%まで行っているのだろうと。学校教育がこんなはずないというふうに、自分は勝手にこの結果に対して思うところなので、なぜこういうふうになったのかなというふうに思ったのが、私が今、手を挙げた理由なのですけれども。どんなところを分析はされていらっしゃいますか。

○会長 ご回答お願いします。

○事務局 こちら、アンケートの結果自体は、男女別でしか今こちらにお出しできていないのですけれども、一応年代別のクロス集計も行ってみようかなというふうには思っています。年代によって、やはり差別感を感じていた人たちとかも中にはいらっしゃるのかもしれない。回答していただいた人たちが偏った対象だったかという、そうでもない、いろいろな方たちが集まるイベントの場でアンケートをとらせていただいているので、そこまで偏ってはいないんじゃないかと思っているので、そこまでの分析はできていないのですが、結果として今この回答が上がってきているという形になります。もしかしたら平等ではないと心の底で思っているのがアンケートに出てきたのかもしれないのですけれども、そこに関してはちょっと分析し切れていない部分だと思います。

○委員 変なことを聞きまして、申しわけありません。ありがとうございました。

○会長 ほかにいかがですか。

どうぞ。

○委員 素朴な疑問で恐縮なのですが、アンケートの回収の全体の総数が613とおっしゃっている中で、回収するのはとても大変な作業だと思うのですが、白井の職員の方が半数近く答えていただいているというのは、全体の分母数も必要というところとか、済みません、素朴なところなのですけれども。

あと、市の方というのは、一般の方より、もしかしたらいろいろな意味で意識の高い方も、特別な勉強をされている方も多いかと思うので、よりよく一般の方のアンケートというのが広

げていけるようなイベントじゃないのですけれども、何かそういう方向性というのはあるのですか。

○会長 いかがでしょうか。

○事務局 本来であれば、本当に市内の住所を置いている方を白井市の場合、赤ちゃんからお年寄りまで合わせて6万人ちょっといる中から、無作為抽出でピックアップした方にアンケートを送付して回答していただくというのが住民意識調査のやり方になります。そうすると、やはりバックグラウンドが違う方たちをそれなりに抽出して平均値を出しているような形にはなると思うのですけれども、アンケートの場合、確かに会場アンケートに関しては、住民意識調査と大して変わらない部分がある中で、市の職員というのがそれなりに知識も持っている部分があるのではないかという部分に関しては、多分そういう部分もあるかと思います。

アンケートを会場でやるのは、やはりすごく大変で、回収をした上で、それをまたデータとして入力するという作業は非常に大変なことになってくるので、なかなか職員でやろうと思ってもやれない部分もあるので、もし今後、次の計画をつくり直すときとかに関しては、多分、業者さんをお願いした無作為抽出の形でのアンケートが主になってくる、アンケートというか意識調査が主にはなってくると思います。今回のアンケートのやり方では、すごく手間がかかる部分があるので、アンケートという形では続けられないかなと思っています。もしかしたら毎年同じことをやって数字を見ていったらおもしろいんじゃないのとかという考え方もあるかもしれないのですけれども、市としてやることができるかという、難しいかなと考えています。

○会長 ほかにはいかがでございましょうか。

どうぞ。

○委員 もう一度、そもそも聞きますが、アンケートは紙面による回答だったのですか。

前の会議のときに、何かスマホを使ってという話だったと。

○会長 どうぞ、ご回答。

○事務局 当初は、QRコードを使ってやる、QRコードを準備しました。ただ、前回の会議の際に、やはり年配の方とかは難しいんじゃないかということで、QRコードのついたチラシも一緒に配ったのですけれども、全て紙でしか回答をいただけなかった状態になります。実際にそのイベントの際に紙を持って、アンケートをお願いしますと配って回収した形になりました。済みません、それをきちんと伝えていませんでした。

○委員 それに関連しているかもしれませんが、アンケートを行った場所が、例えばフェミナスの会場だと、やっぱりそれなりに働こうと思ったり、女性関係のことも、手芸が好きだからという人もいるかもわからないけれども、そういうことを知りたいという人が足を運んでいる場所であったし、また会場が青少年女性センターということもあって、その場所を知っているというのもあるので、多分人数がどれぐらいいたのかはわからないのですけれども、センターで枚数はどれぐらいとれたのか、その会場ではわかりませんが、会場を知っているというところについては、行っていない人と比べたら、よく知っている人がふえているんじや

ないかなと想像されるので、それこそ数値がちょっと伸びてきたと思う判断では、ちょっと甘いかなと感じました。

○会長 ありがとうございます。

どうぞ。

○事務局 ご存じない方のためにも、もう一度。フェミナスハートプラスというイベントは、講演会と、その前年度に青少年女性センターで実施する起業講座、起こす業のほうですね、起業講座の参加者やOBや、あと実際にそのセンターで無店舗販売をしたりとか、実際に手芸であったりとか、お菓子づくりであったりとかで、いろいろな今マルシェってはやっているじゃないですか。そういうところに出ている方たちが集まって、起業体験と、既に起業してらっしゃる先輩たちが一緒にお店を出して、お互いに交流をしている、実際に自分でそういうイベントに参加して体験して、子供を育てながらこういうことってやっていけるのかというのを体験していただくイベントになっています。実際に物販も行っています。

確かにフェミナスの会場アンケート、さほど回答数は多くはなかったのですが、会場が青少年女性センターなので、青少年女性センターを知っていると答えている人は多いとは思いますが、先ほど申し上げたとおり、青少年女性センター自体が通常、福祉センターと呼ばれていて、青少年女性センターという施設名を知らない方も多分大いにいらっしゃると思うので、そこら辺は確かに若干甘いかもしれませんが、引き続き周知を図っていけるように努力はしていかないといけないのかなと考えています。以上です。

○会長 ありがとうございます。

どうぞ、お願いいたします。

○委員 先ほどのアンケートの母体に関してなのですが、白井市の方がやるにしても、業者に任せるにしても、住民票から一定の年齢とか男女別、そういう形でDMをどの程度が返ってくるのかわかりませんが、そういう形で出すのはだめなのでしょうか。

○事務局 これ計画つくったときは、そのやり方でやったのですが、今回、中間の見直し、この計画自体を見直すわけではなくて、数値を測っているものに関しての見直しを図るということで、そこまでは規模の大きな調査をせずにアンケートという形で実施したという背景がございます。

実際に、この計画を立て直すときには、今おっしゃったような無作為抽出の住民意識調査による男女共同参画についてという形でのアンケートというか、ちょっと大きな調査をやっていく形をとりたいと思っています。

○委員 私も、他の委員が先ほどおっしゃいましたように、白井市の職員が40%なのですよね。そうすると、白井市の職員の方の意識を高めれば、このアンケートの結果も高くなって、そんな図式が見えちゃったものですから。

○事務局 そうですね。確かに、市の職員が3分の1、3分の1ぐらいですかね、になってくるので、どうしてもそういう意味では、無作為で集められた数との差というのが出てくる部分

があるのかなとは思いますが、これ、イベントとeモニターで集めた数値と、それから職員で別で見るとも可能になってくるので、必要であればそこら辺の数値も出せるようにはしておきたいとは思っています。

○会長 ありがとうございます。

ほかにはどうでございましょうか。いいですか。

ただ、これ10年間の計画の中で、5年目の折り返し点のところで調査をするということはなかなか大変なことで、あんまりやっていないところが多いのですよね。その中で白井市が随分お骨折りをなさりながら実施がなされたということは、これは非常にすぐれた調査だったなというふうに思いますし。しかも、今おっしゃっていただきましたように、大体、住民票から抽出してやるのが普通ですけれども、こういうイベントの中で、しかもいろいろな違ったようなイベントの中でとか、それからeモニターとか、それから市の職員の方々も一緒にしておやりになったという、こういうのってあんまりこれまでどこの自治体もなかったようなことでございますので、これは誇っていい調査じゃないかと思います。でこぼこはいろいろ出てきますでしょうけれども。今、既存のものとしては5年前ですよ。

○事務局 はい。

○会長 無作為の住民調査がありますよね。それとまた比べて、時間的なギャップはありますけれども、比べてみると、多少の違いがあつたりなかつたりするかもしれませんので、おもしろいかなと思っております。ご苦労さまでございました。本当に大変でございました。ありがとうございます。

それでは、皆様方には、まだまだご意見ですとか、それからご議論がおありだと思いますけれども、それはまたメールでも事務局のほうにお問い合わせくださるといいかと思えます。勝手ですが、済みません。その進め方でお願いします。

では、次の議題にまいりましょうか。

### (3) 男女平等推進行動計画 後期実施計画策定スケジュールについて

○会長 議題の3、男女平等推進行動計画後期実施計画策定スケジュールについてということで、また事務局のほうからいろいろとご説明を。

○事務局 (事務局説明)

○会長 ありがとうございます。

きょうは、初見のものも含めまして資料がとても多くて、私どもこれをまた持ち帰りましてしっかりと拝見して、そして意見を出ささせていただきたいと思いますが、ただいまのご説明で何かお聞きになりたいことがございましたら、どうぞ。どなたからでもお出してください。

あるいは、事務局から補足がございませうか。

○事務局 スケジュールの関係で少し補足といいますか、ざっくりとこんな流れでというところでございます。



こちらのお配りさせていただいたスケジュール表、資料7で水色の部分がこの推進会議ということで、一応2回ほど今の予定の中では計画させていただいております。

次の会議が、8月から9月、夏あたりに想定はしているのですけれども、ここまでに二つの作業を我々のほうは進めていきまして、一つには、先ほど来、進行管理というようなことを言っておりますけれども、今の計画の令和元年度の分の評価をまとめさせていただいたものを報告させていただくと。

それと、もう一つ、次の計画ということなのですけれども、そのこのこれから庁内の担当課のほうに、どういう事業をやっていくかということの照会、それからヒアリング等々を行いまし整理させていただいた上で、次回の会議までには素案といいますか、たたき台の形に整えさせていただいて、1回お諮りさせていただきたいと思います。そこでまたいろいろご議論いただいたものを修正等々させていただいて、今の予定では、年明けて、今ぐらいの時分というのでしょうか、2月ぐらいを想定はしているのですけれども、そこで最終決定をできればと。場合によっては、またご意見等が出ることも想定されますので、場合によってはもう一回追加で、マックスで3回ということもあり得るかなということで設定はしてございます。そんな状況でございます。

○会長 ありがとうございます。

ただ、8月から9月までの間ってオリンピックの期間でもありますので、大変なこともいろいろとおありかもしれません。でも、我々は、仕事は仕事としてやっていきましょう。

○事務局 日程調整のほうは、改めてさせていただきたいと思います。

○会長 ただ、いろいろオリンピック・パラリンピックの受け入れとか何かというのもおありなんじゃないですかね。

○事務局 オリンピックで、今ホストタウンというのがいろいろとあるのですけれども、白井は実はアフリカのブルキナファソという国のホストタウンということで登録させていただいております。本当は、事前キャンプみたいな形で大体的にやればよかったのですけれども、なかなかそこには至らなくて、試合が終わってからお寄りいただく事後交流という形で、リラックスした状態の選手がやってきてということで考えております。恐らく8月の上旬にそれがあかなと考えておまして。

○会長 ただ、同じ企画課でございましょう。ですから、一番お忙しい部局でいらっしゃいますので。この時期に、あれもこれもで大変かなと思いますので、ちょっと伺いました。

○事務局 ありがとうございます。

○会長 ほかに、どうでございましょうか。皆様方から何かご意見ございませんでしょうか。最初でございますので、いろいろとお尋ねになっていたほうがよろしいこともあるかと思いますが、いかがでございましょうか。

これは、これからのことでございますので、またじっくりと皆様方と考えてまいりましょう。

#### (4) その他

○会長 それでは、議題は終わりましたけれども、その他という項目がございますので、これは事務局のほうで何かございますか。あるいは、皆さん方の委員さんからでも結構でございます。

まずは事務局からお願いいたします。

○事務局 まずは、事務局から連絡事項等になります。

本日、初めて市のいろいろ審議会等の委員さんになる方には、報酬の振込先と個人番号、マイナンバーの写しをご持参くださいということでお手紙を出してありましたので、会議が終わってからで結構ですので、順番にこちらに提出いただければと思います。

また、今、会長のほうからちょっとお話があったのですが、男女共同参画と今オリンピックホストタウン、国際交流等も一緒にやっているのですが、男女共同参画室自体が今年度いっぱいなくなる形になります。この男女共同参画に関する仕事と人権に関する仕事は、4月以降は市民活動支援課が担当になります。市民活動支援課は、今、お隣の庁舎、一番東側の庁舎の1階に入っているところになります。自治会活動であったりとか、防犯とか、交通安全などを担当しているところなのですけれども、そちらのほうでより実践的な男女共同参画の推進を目指して行っていく配置換えになってきます。男女共同参画室がやっているほかの残りの事業に関しては、おおむね企画政策班のほうに引き継ぐ形にはなってきますので、次の会議やお知らせのときには、男女共同参画室ではなくて市民活動支援課からお手紙が来る形になると思いますので、よろしくをお願いいたします。

○事務局 補足になりますけれども、役所も組織のスリム化という大きな課題がありまして、そういった波の中で、今回、非常に残念なのですけれども、そういう決断をさせていただいたところでございます。業務自体をやめるわけではなくて、配置をかえて継続して引き続きしっかりやっていきたいというふうに思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○会長 私どもこそ、よろしくお願ひいたします。でも、かえって部局がかわると、そこの皆さん方の意識もまた変わっていくかもしれませんし、いろいろな方がかかわられるのもいいかと思ひますよね。というふうに前向きに考えています。

○事務局 ありがとうございます。

○会長 委員さん方の中から、いかがでございましょうか。

それでございますたら、きょうの第2回目になりますね。私どもがかかわるのは初めてでございますけれども、これで会を終わらせていただきたいと思ひます。どうもご協力いろいろありがとうございました。